

4 緊急度判定の実施

4 緊急度判定の実施(WG設置)

(1) 緊急度判定の実施に関する検討の目的

119番通報時と救急現場において緊急度判定を運用することは、緊急性の高い傷病者に対して、地域の消防・救急・医療資源を適切に活用できるという観点で有用と考えられる。その有用性と運用方法について、平成31年度のモデル地域における実施・検証の結果を含めて全国の消防本部へ示すことで、導入を促す。

(2) 平成30年度の検討事項

- ・ 緊急度判定を行うための教育体制の検討
- ・ 緊急度判定を運用する上での対応マニュアルの作成
- ・ 平成31年度の検証に向けた効果の測定方法等の検討

平成29年度からの3年間のスケジュール

項目	平成29年度	平成30年度	平成31年度
消防本部に対する実態調査	実態調査・課題抽出	課題解決策の検討	モデル地域 において 実施・検証
実運用可能な緊急度判定支援ツールの開発 ※消防防災科学技術研究にて実施	119番通報時・救急現場における 緊急度判定支援ツールの開発及び実施・検証準備		
対応マニュアル (接遇・説明、不搬送時のアフターケア、記録の残し方等)の策定	実態調査	対応マニュアル策定	
消防職員への教育	実態調査	教育体制の構築	
救急車以外の医療機関への受診手段のあり方 ※消防防災科学技術研究にて実施	緊急度に応じた搬送先選定と 搬送手段のあり方の検討	ガイドライン策定	

4 緊急度判定の実施(WG設置)

(2) WGでの検討内容

①第1回WGの検討【平成30年7月26日(木)開催】

【検討内容】

- 各消防本部で行われている緊急度判定に関する取組の紹介
- 過去に消防庁で作成した緊急度や接遇等に関する資料をまとめ、対応マニュアル(案)及び教育体制のあり方について検討
- 平成29・30年度消防防災科学技術研究「緊急度判定プロトコル精度の向上・現場での活用に関する研究」の進捗報告

②第2回WGの検討【平成30年10月30日(火)開催】

【検討内容】

- 対応マニュアル119番通報時(案)・救急現場(案)をそれぞれ提示し検討
- 緊急度判定の実施における記録と、その有用性等の評価方法について検討
 - ・119番通報時における記録、救急現場における記録
 - ・緊急度判定の有用性と精度の評価方法
- 教育体制の現状について整理
- 救急救命体制の整備・充実に関する実態調査結果(緊急度判定)の報告

4 緊急度判定の実施(WG設置)

(3) 導入・運用マニュアル(手引き)の検討

○緊急度判定の導入・運用マニュアル(手引き)(案)

- ・「119番通報時」と「救急現場」のそれぞれの導入・運用マニュアル(手引き)(案)を作成
- ・緊急度判定の意義・定義等について記載
- ・各消防本部で取り組まれている事例を収集し運用例として掲載
- ・過去に消防庁で作成した緊急度判定に関する資料を抜粋し、リファレンスも示した

○構成

第1章 緊急度判定を行う意義

第2章 緊急度に関する定義

第3章 緊急度判定の実施

- ・通信指令員、救急隊員の活動の基本や運用例
- ・緊急度判定の実施手順
- ・記録
- ・接遇

参照資料



- ・緊急度判定プロトコルVer.2.0 119番通報時
- ・緊急度判定プロトコルVer.1.1 救急現場
- ・通信指令員の救急に係る教育テキスト(追補版)
- ・通信指令員の救急に係る教育コンテンツ
- ・救急隊員用教育動画eカレッジ
- ・指導救命士の養成に係るテキスト

4 緊急度判定の実施(WG設置)

(4) 実施・検証に向けた記録項目と評価方法の検討

○119番通報時の緊急度判定の記録(案)

- 緊急度判定を実施する際に、事後評価を実施することも念頭においた上で、記録することが望ましい項目案(音声データを含む)について検討

望ましい記録項目案

年齢・性別・住所	覚知・出動要請時刻	ドクターカー、ドクターヘリの要請時刻	通報概要(症候)	#7119への転送実施記録
心肺停止判定のキーワードの聴取内容	呼吸・循環・意識状態の聴取内容	緊急度判定結果	出動させた部隊	口頭指導実施記録

○119番通報時における緊急度判定の有用性等を評価(案)

- 地域の救急・消防・医療資源の最適活用

→ドクターヘリ、ドクターカーの要請基準に119番通報時の緊急度判定

結果を反映させ、医療介入までの時間(覚知からドクターカー、ドクターヘリの要請、現場到着までの時間)の短縮効果を評価する

→PA連携を含めた現場到着時間や傷病者接触までの時間の短縮効果を評価する

- 緊急度判定の精度の評価

→119番通報時の緊急度判定結果、救急現場での緊急度判定結果、搬送先医療機関での緊急度判定結果等を比較し、119番通報時の緊急度判定の精度を評価する

→119番通報から#7119へ転送し、再度#7119から119番通報となった事例の発生率を確認し、緊急度判定の精度を評価する

4 緊急度判定の実施(WG設置)

(4) 実施・検証に向けた記録項目と評価方法の検討

○救急現場での緊急度判定の記録(案)

- 緊急度判定を実施する際に、事後評価を実施することも念頭においた上で、記録することが望ましい項目案について検討

望ましい記録項目案

覚知・現着・現発(・病院選定)・病着時刻	指令時の緊急度判定結果	傷病者接触時刻	年齢・性別・主訴・受傷機転	バイタルサイン	実施した応急処置等
緊急度判定結果	現場からPA連携・Drへリ等の要請時刻	低・非緊急度の傷病者事案の引揚時間	搬送先医療機関	搬送先医療機関における緊急度判定結果	搬送先医療機関における転帰

○救急現場での緊急度判定の有用性等を評価(案)

- 地域の医療資源の最適活用
 - 緊急度判定導入前と導入後で、現場到着から病院到着までの所要時間の短縮があるかを評価する
 - 現場到着から病院到着までの所要時間について、特に「高緊急の傷病者」において評価し、
メディカルコントロール協議会等において適切な対応が実施されているかを評価する
- 緊急度判定の精度の評価
 - 救急現場での緊急度判定結果と搬送先医療機関での転帰(帰宅、一般病棟、ICU)を比較することで、緊急度判定の精度を評価する
 - 救急現場での緊急度判定結果と搬送先医療機関での初診医重症度評価結果等を比較することで、緊急度判定の精度を評価する

→平成30年度の検討結果を用いて、平成31年度の実施・検証を行い、緊急度判定の有用性や、精度の評価方法を示すことで、全国の消防本部に緊急度判定の導入の検討を促す。

4 緊急度判定の実施(WG設置)

(5) 教育・研修体制の検討

○教育・研修体制の現状についての整理

	教育実施時期	カリキュラム	緊急度に係る教育資料
通信指令員	通信指令員	救急業務に携わる職員の生涯教育の指針Ver.1	<ul style="list-style-type: none">・通信指令員の救急に係る教育テキスト・緊急度判定プロトコルVer.2(119番通報時)・通信指令員教育補助的教材 等
救急隊員	(新任・兼任・現任) 救急隊員 救急隊長 救急救命士	救急業務に携わる職員の生涯教育の指針Ver.1	<ul style="list-style-type: none">・救急隊員教育用動画教材・緊急度判定プロトコルVer.1.1(救急現場) 等



いずれも、生涯教育の一環として「緊急度判定」を習熟することとされている

○教育・研修体制のあり方(検討中)

通信指令員・救急隊員が緊急度判定について、その概念を含めて十分に理解し、活動の中で実践できることを目標とした教育・研修体制

→実現のためにはどのような体制が望ましいか、引き続き検討を行う

4 緊急度判定の実施(WG設置)

(5) 今後の方向性

- 緊急度判定を運用する上でのマニュアル(手引き)の作成について
 - ・緊急度判定の導入・運用マニュアル(手引き)(119番通報時・救急現場)を作成
- 緊急度判定の実施における記録と有用性・精度の評価について
 - ・地域の救急・消防・医療資源が最適活用されているか評価する方法を検討
 - ・緊急度判定の精度を評価する方法を検討
 - ・平成31年度の実施・検証において有用性、精度の評価方法を示し、緊急度判定の導入の検討を促す
- 教育・研修の体制について
 - ・通信指令員、救急隊員の緊急度判定の習熟を目的とした教育・研修はどのようにあるべきかを検討
- 平成31年度の実施・検証に向けた実施団体の選定
 - ・緊急度判定の有用性等の評価が実施可能なモデル地域の選出及び実施・検証の方法等について検討

項目	平成30年12月	平成31年1月	平成31年2月～3月
緊急度判定を運用する上での対応マニュアル	救急業務のあり方に関する 検討会 第2回	緊急度判定の導入・運用マニュアル (119番通報時・救急現場)作成	救急業務のあり方に関する 検討会 第3回
緊急度判定を行うための教育体制の検討		教育・研修のあり方の検討	
平成31年度の実証検証に向けた、緊急度判定の有効性等の評価方法の検討		評価方法について検討	
平成31年度実施・検証に向け実施団体の選定		実施・検証が可能な団体、方法の検討	
		とりまとめ	報告書完成